



## 千曲市と共同で排水ポンプ車の実働訓練を行います

千曲川河川事務所では、現在、排水ポンプ車(排水能力 毎分30トン)を6台配備し、洪水などの際には、地方公共団体等からの要請により現地に出動し、内水被害の軽減に努めています。

このため、迅速にポンプを設営し排水作業を行うためには、日頃からの設営・排水訓練が不可欠であり、管内において定期的に実働訓練を行っています。

今回、千曲川河川事務所と千曲市の共同で下記により実働訓練を実施し、併せてポンプ車や照明車の概要説明等を行う予定です。

地域の皆様には訓練を見学していただき、防災意識を高めていただければ幸いです。

### 記

日時：平成22年7月14日(水) 14時00分～15時00分  
場所：千曲市土口地先(土口水門上流)



### H21年6月に長野市で行った訓練状況



平成21年6月23日に長野市篠ノ井の岡田川樋門で行われた実働訓練では、地域の皆様をはじめ、市町村関係者、報道機関など約30名の方に見学いただきました。なお、この訓練の様子は長野県内のローカルニュースとして放映されました。

### 【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局  
千曲川河川事務所 026(227)7611  
副所長(技術) 白井 正己  
管理課長 塚田 誠一

参考資料 H21年6月23日長野市での訓練状況

千曲市からも同旨の記者発表が行われています。

国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所 CHIKUMA RIVER INFORMATION ROOM 千曲川情報館

防災/災害情報 ニュース/イベント 入札契約情報 事務所と事業 茨城への取り組み 知る・学ぶ・協働 総合学習素材 リンク集

トップページ > ニュース/イベント > 千曲川だより

千曲川だより

発行:千曲川河川事務所

掲載日 2009/07/02

## 6月23日排水ポンプ車の実働訓練を実施しました

千曲川河川事務所では、排水ポンプ車を5台配備し、出水時の内水被害軽減に努めています。迅速かつ確実な排水作業を行うためには、日頃からの訓練が重要であり、定期的に訓練を重ねています。

梅雨時期をむかえ、地域の皆様に防災意識を高めていただく意義も含め、この訓練を見学していただきました。



場所は、長野市篠ノ井の岡田川樋門で、地域住民をはじめ、市町村関係者、報道機関など約30名の方が見守るなか、無事故で訓練を終了しました。

なお、この訓練の様子は長野県内のローカルニュースとして放映されました。



排水ポンプ車が出動するような災害が無いことが一番ですが、出動の必要が生じた場合には内水被害軽減のため、迅速かつ確実な排水作業が実施できるように今後とも努めていきます。

訓練終了後、排水ポンプ車に搭載されている水中ポンプ4台のうち、1台のポンプ羽根に細長い布が巻き込んでいるのが見つかり、補修整備が必要となりました。今後は、このようなゴミなどを吸い込まない工夫が必要であるとともに地域の河川美化に努めていただければ、このようなことは事前に防ぐことができると思いますので、よろしくお願いします。



ポンプ羽根に巻きついた布